

1 揮発性有機化合物排出施設設置 (使用、変更)届出書  
 静岡県知事 様  
 〒〇〇〇〇—〇〇〇〇  
 フリガナ シスオカシ  
 住所 静岡市〇〇区△△▲—▲  
2 令和 〇年 4月 1日  
 フリガナ 〇〇カガク カブシキカイシャ  
 氏名 〇〇化学株式会社  
 フリガナ カガク カブシキカイシャ  
 代表取締役社長 西部 太郎  
3 届出者  
氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

大気汚染防止法第17条の3第1項 (第17条の6第1項、第17条の7第1項)の規定により、揮発性有機化合物排出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇化学株式会社 第1工場	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">4</span> ※整理番号	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">5</span>	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">6</span>
工場又は事業場の所在地	〒〇〇〇〇—〇〇〇〇 ●●市〇〇町△—△	※受理年月日		
揮発性有機化合物排出施設の種類	3. 塗装の用に供する乾燥施設	※施設番号		
揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法	別紙1のとおり。	※審査結果		
揮発性有機化合物の処理の方法	別紙2のとおり。	※備考		

備考1 揮発性有機化合物排出施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の2に掲げる項番号及び名称を記載すること。

- 2 ※ 印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A 4 とすること。
- 5 排出ガスを処理施設において処理していない場合には、別紙2の届出は必要ない。

## 記載上の注意事項(様式第2の2)

①何の届出書かわかるようにしてありますか？

→該当しない字句は＝で消して届出の主旨を明らかにします。

大防法の場合

{ 設置 (使用、~~変更~~)  
第17条の5第1項 (第17条の6第1項、~~第17条の7第1項~~)

②届出日を記入してありますか？

→市町に提出し、受理された日＝受付印の日付とします。

③届出者は適格者ですか？ 法人の場合住所は本社の場所を示していますか？

→以前の届出がある場合、それらに変更がないことをご確認願います。

→変更があった場合は別途氏名等変更届を提出する必要があります。

④工場・事業場の名称が正しく書かれていますか？

→届出する揮発性有機化合物排出施設が設置される（されている）場所を示すものです。

→工場の場合は通常「〇〇会社〇〇工場」のようにします。

→以前の届出がある場合、名称に変更がないことをご確認願います。

→上記に変更があった場合は別途氏名等変更届を提出する必要があります。

（合併等による場合は氏名等変更届ではなく承継届を提出する場合があります）

⑤工場・事業場の所在地が正しく書かれていますか？

→届出する揮発性有機化合物排出施設が設置される（されている）場所を示すものです。

→住居表示で示される地区は通常これを記入します。

→以前の届出がある場合、所在地に変更がないことをご確認願います。

→上記に変更があった場合は別途氏名等変更届を提出する必要があります。

（地番を住居表示に改めた場合も含めて）

⑥ばい煙発生施設の種類を正しく記入していますか？

→法施行令別表第1の2に掲げる項番号及び施設の名称を記載します。

→例 ○：「3. 塗装の用に供する乾燥施設」 ×：「乾燥施設」

→項番号の異なる施設（＝種類の異なる施設）を一つの届出にすることはできません。

## 揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法

工場又は事業場における施設番号		乾燥施設 1		
名 称 及 び 型 式		S社製K-2000		
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日	年 月 日
着 手 予 定 年 月 日		令和〇年 7月 1日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日		令和〇年 7月 15日	年 月 日	年 月 日
規 模	送風機の送風能力 ( $\text{m}^3/\text{h}$ )	50,400		
	排風機の排風能力 ( $\text{m}^3/\text{h}$ )	24,000		
	揮発性有機化合物が空気に 接する面の面積 ( $\text{m}^2$ )			
	容 量 (kl)			
1日の使用時間及び月使用日数等		8時～ 8時 24時間/回 1回/日15日/月	時～ 時 時間/回 回/日 日/月	
排 出 ガ ス 量 ( $\text{Nm}^3/\text{h}$ )		24,000		
使用する主な揮発性有機化合物の種類		酢酸エチル、トルエン		
揮 発 性 有 機 化 合 物 濃 度 (容量比ppm (炭素換算))		121		
参 考 事 項				

備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第 1 の 2 の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- 3 揮発性有機化合物排出施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。
- 4 排出ガス量は、湿りガスであって、最大のものを記載すること。
- 5 揮発性有機化合物排出施設が貯蔵タンクである場合には、排出ガス量の欄には記載しないこと。
- 6 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
- 7 揮発性有機化合物濃度は、揮発性有機化合物の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
- 8 参考事項の欄には、揮発性有機化合物の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、揮発性有機化合物の排出の抑制のために採っている方法（排出ガスを処理施設において処理しているものを除く。）等を記載すること。

## 揮発性有機化合物の処理の方法

揮発性有機化合物の処理施設の工場又は事業場における施設番号		回収式処理施設	
処理に係る揮発性有機化合物排出施設の工場又は事業場における施設番号		乾燥施設1	
揮発性有機化合物の処理施設の種類、名称及び型式		S社製回収式処理施設	
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		令和〇年 7月 1日	年 月 日
使用開始予定年月日		令和〇年 7月 15日	年 月 日
処能	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	24000	
	揮発性有機化合物濃度 (容量比ppm (炭素換算))	処理前	6040
		処理後	121
	処理効率 (%)	98	

備考1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2 排出ガス量は、湿りガスであって、最大のものを記載すること。

3 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。

4 揮発性有機化合物の処理施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。